

二条大麦有望系統「サチホゴールド」について

1 来歴

- (1) 育成地 栃木県農業試験場
- (2) 交配組み合わせ 「大系 R4224」(後の「栃系 254」) × 「関東二条 29号」

2 特徴

- (1) ビール醸造用として利用が期待される二条大麦である。
- (2) 「彩の星」に比べ出穂期は同程度、成熟期は1日程度遅い。
- (3) 「彩の星」に比べ、稈長、穂長はやや長く、穂数は少ない。
- (4) 「彩の星」に比べ、千粒重がやや重く、収量性は同程度。
- (5) オオムギ縞萎縮病Ⅰ～Ⅲ型に対して抵抗性を持つ。
- (6) 平成29年産において全国8県で奨励品種採用。

表 奨励品種決定予備調査結果(平成26～28年播の平均)

品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	整粒重 (kg/10a)
サチホゴールド	4/2	5/18	95	6.2	761	48.6	55.8
彩の星	4/2	5/17	91	5.8	889	47.4	56.3

注) 整粒重は2.5mm篩選による



「サチホゴールド」の草姿、穂型、粒形
(栃木県農業試験場 HP より)

3 平成29年播(平成30年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(初年目)を県内3カ所で行い、現地適応性を検討中。

4 その他

現在、本県のビール麦はサッポロビール社のみの取引だが、ビール麦生産を維持、拡大していくためには複数社との取引が望ましい。現在採用している「彩の星」はサッポロビール社育成で他社との取引が難しいことから、複数社との取引を見据え、栃木県育成品種「サチホゴールド」について現地適応性の検討を開始した。